

笹生川ダム



福井県奥越土木事務所
笹生川・浄土寺川ダム統合管理事務所

1 ダムの概要

九頭竜川は、その源を福井県・岐阜県の境界油坂峠に発し、途中130余河川を合流し、年間約80億 m^3 の水を日本海に流出している流域面積2,930 km^2 、流路延長116 km の北陸地方でも屈指の大河川である。

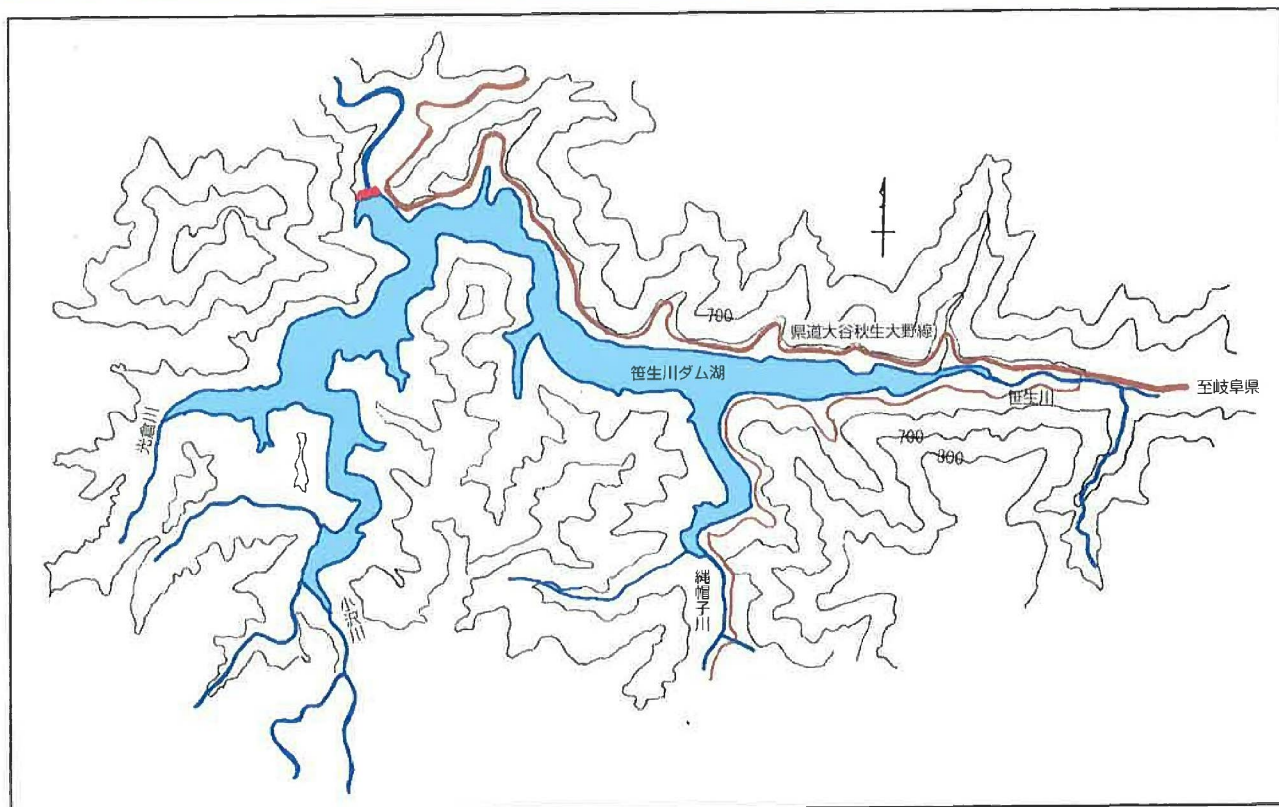
笹生川ダムは、この九頭竜川の支川真名川上流の福井県大野市本戸地先に位置し、真名川総合開発事業の一環として総事業費48億6,920万円を投入して建設された多目的ダムである。

ダムは、重力式コンクリートダムとして高さ76.0 m 、総貯水容量58,806,000 m^3 、有効貯水容量52,243,500 m^3 で洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給および発電を目的とするものである。

ダム完成後、昭和40年9月の奥越豪雨でダム放流能力をはるかに越えた洪水量がダム湖に流入し、ダム本体を越流する危険な状態が発生したため、今後この様なことが起こらないよう事業費24億円を投入して排水トンネル工事を実施した。

経緯	昭和27年3月	実施計画調査着手
	昭和30年4月	付替道路・仮排水路着手
	昭和30年5月	ダム本体着手
	昭和32年11月	完成
	昭和48年6月	排水トンネル着手
	昭和52年10月	排水トンネル完成

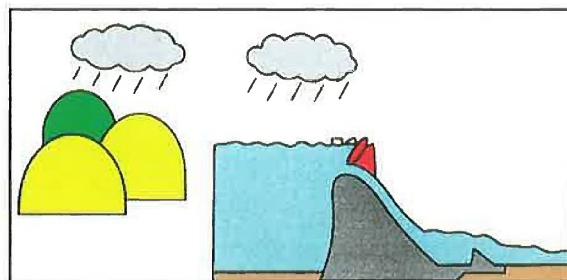
ダム湖周辺平面図



2 ダムの目的

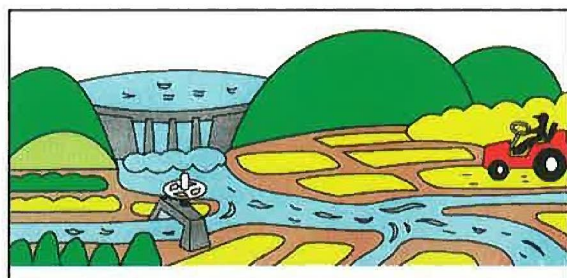
①洪水を防ぎます。

梅雨や台風などの大雨による水(最大毎秒470m³のうち330m³)を一時ダムに貯めて、下流に安全に流し(最大毎秒140m³)ます。このためダムには、大きな「ゲート」がついています。



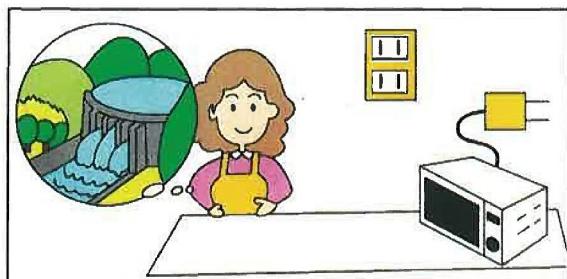
②用水等の水を流します。

ダムに貯めた水を利用して下流で「かんがい用水」が取れるように川に水を流します。



③電気を作ります。

このダムともう一つのダムの水を利用して、最大出力18,000kwの発電を行い、家庭などに電気を供給しています。



④水道の水源の役割をします。

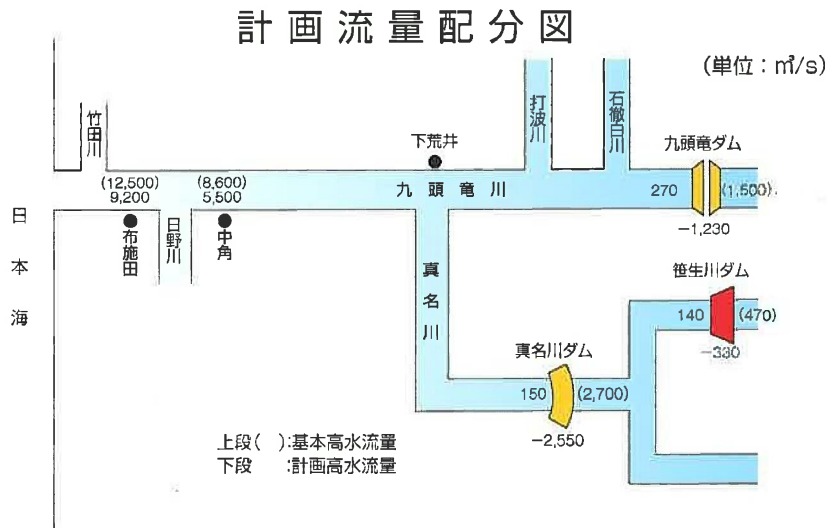
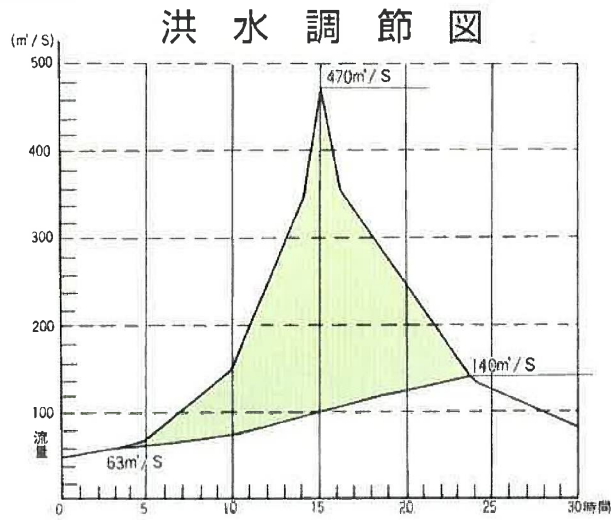
福井市の水道用水の取水(毎秒1m³)を可能にします。



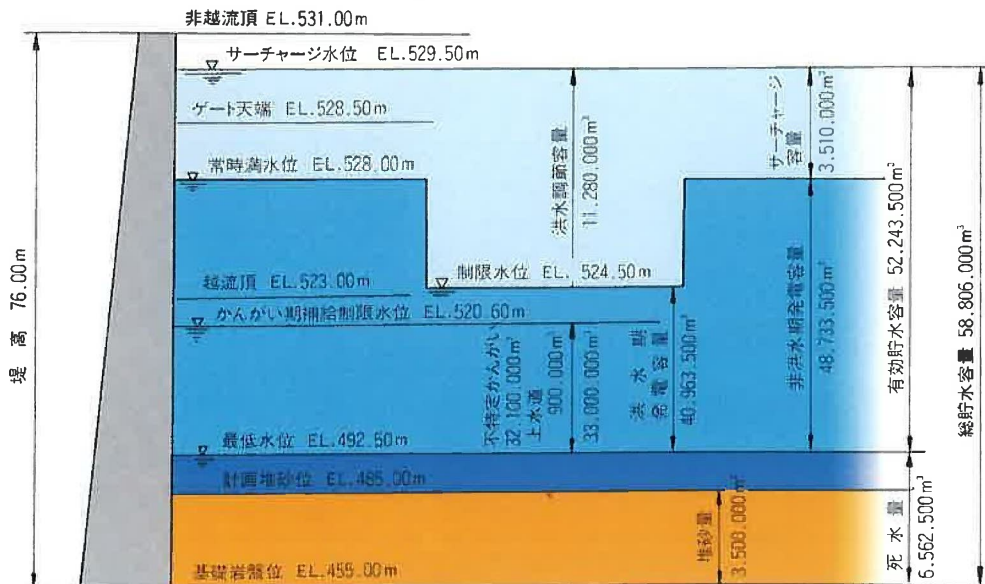
3 ダムの諸元

ダ ム		貯 水 池	
河 川 名	九頭竜川水系真名川	集 水 面 積	70.66km ²
位 置	福井県大野市本戸	湛 水 面 積	2.34km ²
形 式	溢流型直線重力式コンクリートダム	総貯水容量	58,806,000m ³
堤 高	76.00m	有効貯水容量	52,243,500m ³
堤 体 積	224,520m ³		
堤 頂 長	209.80m		

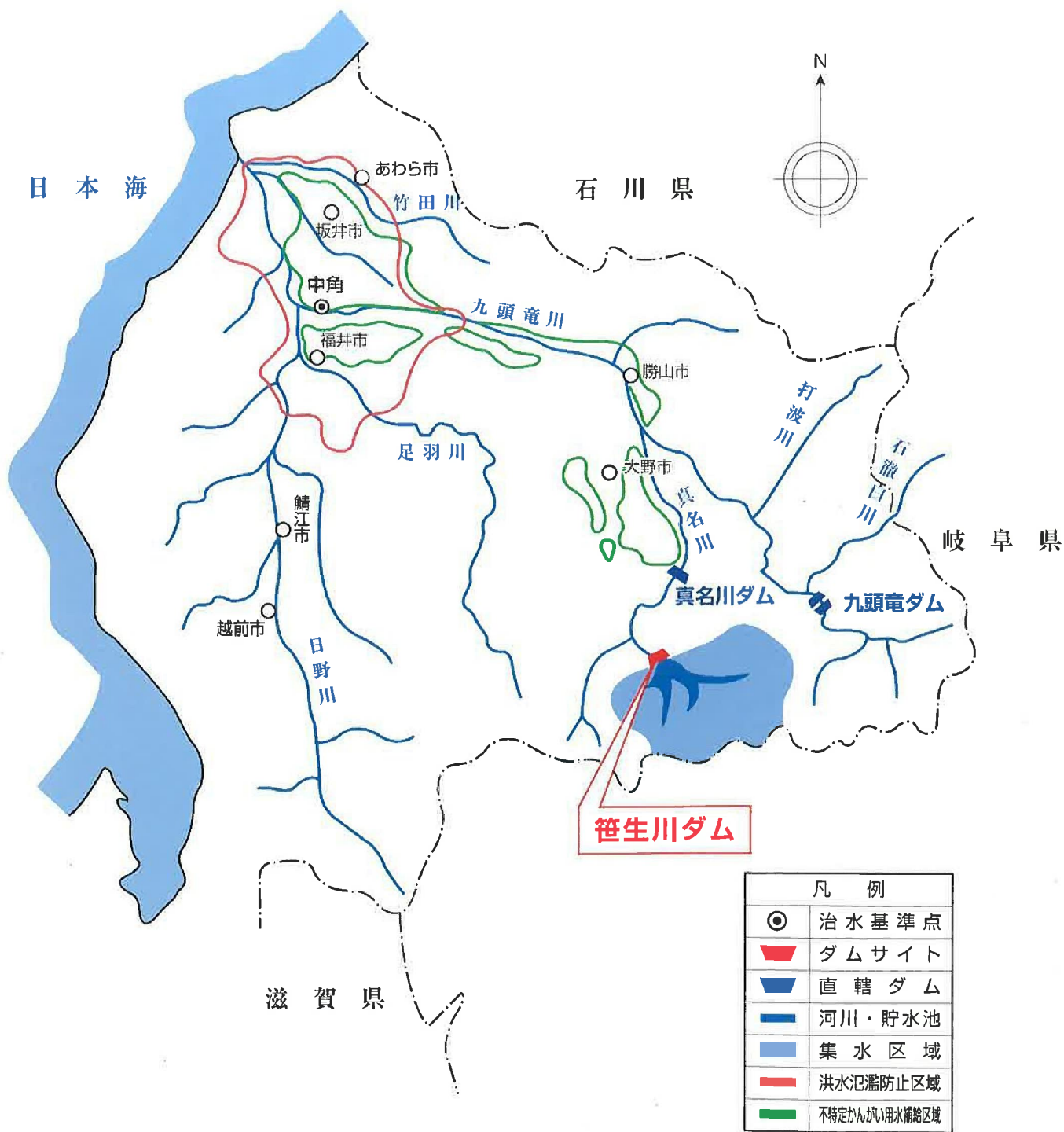
5 洪水調節の方法と流量配分図



6 貯水容量配分図

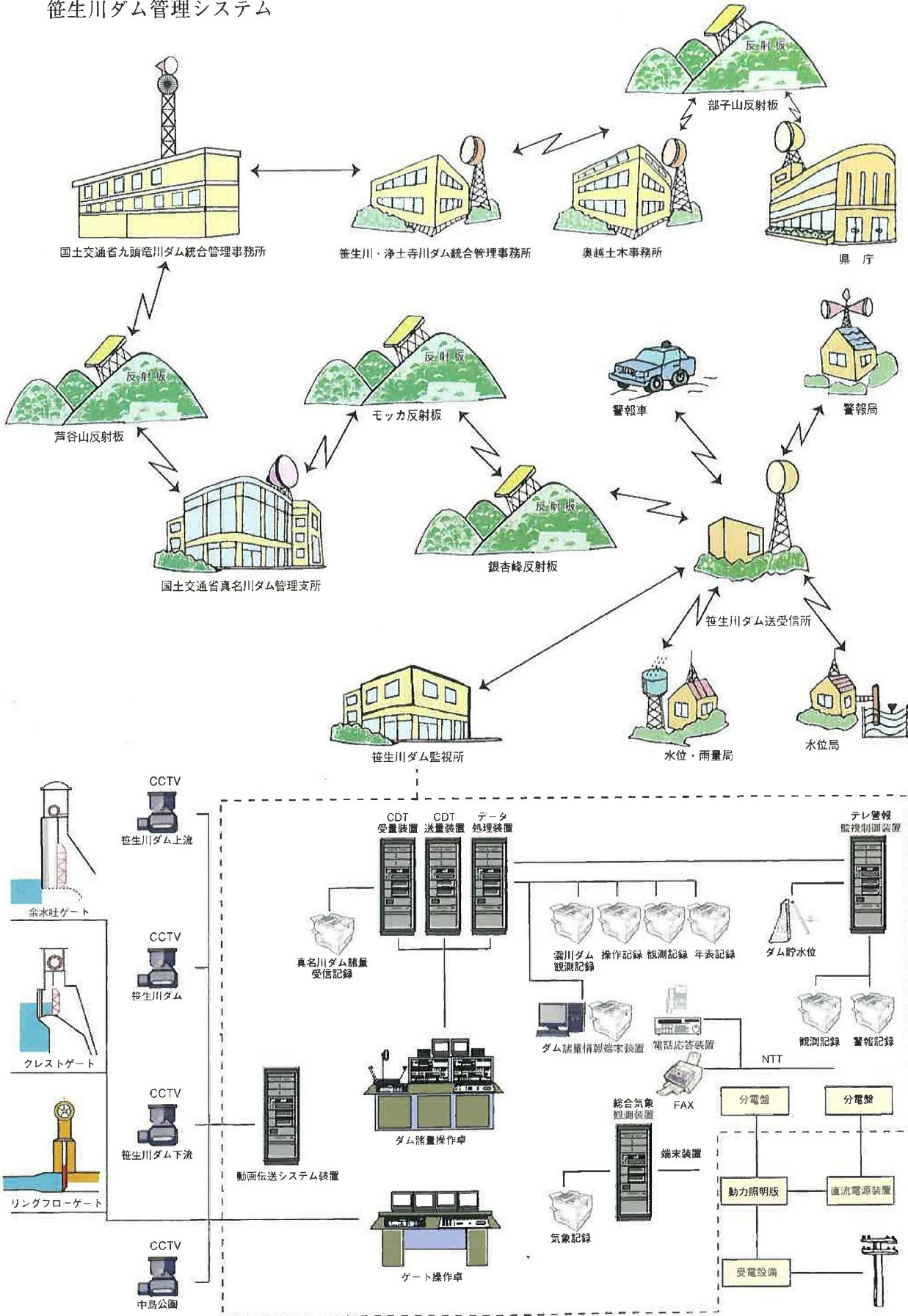


7 流域一般平面図



8 ダム管理システム図

笹生川ダム管理システム



9 ダム周辺



越前大野城（えちぜんおおのじょう）

大野市は、雄大な自然に囲まれ、400年を超える城下町の歴史をもつ。「北陸の小京都」と呼ばれる風情あるまちで、人情味あふれるおもてなしの心で、訪れる人を迎えてくれる。

まちの中心にある亀山に立つ越前大野城の「野面積み」と呼ばれる石垣は、自然の石をそのまま積み上げた珍しい造りである。



姥ヶ岳（うばがだけ）

真名川の上流に位置し、その流れを笹生川と雲川に分けるように座している。山頂からは白山や岐阜県境の山々の連なりや、眼下には笹生川ダムが望める。



御清水（おしょうず）

大野盆地は古くから湧水が豊富で、城下町はその清らかな地下水に恵まれており、湧水スポットが点在する。かつては城主の御用水として使われ、名水百選にも選ばれている。



平家平（へいけだいら）

姥ヶ岳登山道の途中にあり、オウレン畑やブナ林、ミズバショウの群生地など、美しい自然に触れ合うことができる。



福井県奥越土木事務所 笹生川・浄土寺川ダム統管理事務所

〒912-0021 福井県大野市中野28-36-1
TEL (0779) 65-6561 FAX (0779) 65-6573

笹生川ダム監視所

福井県大野市本戸
TEL (0779) 64-1335 FAX (0779) 64-1181